



プレスリリース

一般社団法人 日本原子力学会

2011年3月11日に発生した東日本大震災において、多くの方々が犠牲となられ、また被災されましたことについて心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる**学術・技術専門家集団として社会への情報提供を行うため**、本会の主要な活動等について、随時プレスリリースを行っています。

今回は、「日本原子力学会シンポジウム」開催のお知らせです。

日本原子力学会シンポジウム開催のご案内 女性のためのフォーラム「低線量被ばくと健康影響について」

日本原子力学会は、福島県と共同で「除染推進に向けた地域対話フォーラム」を開催し、福島県民の皆さまの放射能や除染に関する疑問にお答えする活動を行ってきました。また、「福島特別プロジェクト」を学会に設置し、除染活動支援のため「除染情報プラザ」への放射線や除染の専門家の派遣やシンポジウムの開催など、福島の皆さまにより密着した活動を行っています。

震災後4度目の夏となりました。住民の皆さまの放射線に関する知識もかなり浸透してきておりますが、低線量被ばくの影響や除染後の対応など、ご要望もさまざまな分野にわたるものとなってきております。

そのような中で、今回は子供を持つお母様方、子供と接する機会が多い先生方などの疑問やご不安に、女性の立場に立ってお答えするシンポジウムを企画いたしました。多数の女性の方々のご参加を期待しておりますが、今回のテーマにご関心の男性の方のご参加も歓迎します。

日時:平成26年8月30日(土) 13:00~17:00

場所:コラッセふくしま 多目的ホール(福島市)

主催:一般社団法人 日本原子力学会

参加費:無料 (*託児サービスを用意しております。)

プログラム

13:00 開会挨拶

13:10~13:50 放射線防護における安全とは 神田玲子氏((独)放射線医学総合研究所)

13:50~14:30 低線量放射線の生体への影響と食の重要性 宇野賀津子氏((公財)ルイ・パストゥール医学研究センター)

14:30~15:10 放射線と子供の健康 市川陽子氏(いちかわクリニック 医師)

15:10~15:30 休憩

15:30~16:50 討論

ファシリテータ:布目礼子氏(WiN-Japan)

回答者:神田玲子氏、宇野賀津子氏、市川陽子氏

横山須美氏(藤田保健衛生大学)、八塩晶子氏(大林組 原子力環境技術部)

16:50 閉会挨拶

※討論では、出席者の皆様からの質問等にパネリストが、直接お答えします。

本シンポジウムの取材申込みについて

8月29日(金)12:00までに <http://www.aesj.or.jp/symposium/form.shtml> またはFax03-3581-6128にてお申し込みください。

なお、取材希望が多い場合、1社の人数を制限させていただくことがあります。

本件に関する取材等お問合せ先

日本原子力学会事務局 TEL : 03-3508-1261 / E-mail : kikaku@aesj.or.jp